

講演 「日の丸・君が代」強制と愛国心教育 及び 民主党政権の教育政策批判」

ジャーナリスト

齋藤 貴男 氏



1958 年生まれ。都立北園高校、早稲田大学卒業。
日刊工業新聞社勤務を経て、フリージャーナリスト
に。主な著書：『空疎な小皇帝－「石原慎太郎」と
いう問題』（岩波書店）、『「非国民」のすすめ』（筑
摩書房）、『強いられる死 自殺者三万人超の実相』（角
川学芸出版）、『「心」が支配される日』（筑摩書房）、
『憲法が変わっても戦争にならないと思っている人
たちへ』（共著・日本評論社）ほか多数。

プログラム

- 追悼 土屋公献元共同代表
- 後藤昌次郎(弁護士)代表からのあいさつ
- 講演 齋藤貴男氏
- 質疑応答
- とりくみの交流・討論

資料代 500円

日時 2010年 2月13日(土)

16:30開始19:30終了

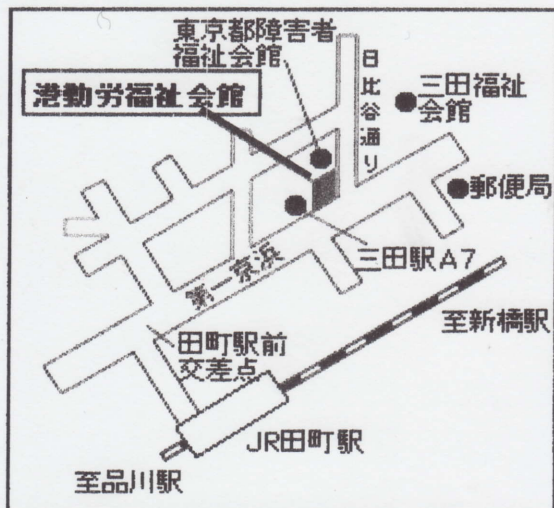
協賛 週刊金曜日

場所 港区勤労福祉会館

JR田町駅 徒歩5分

地下鉄三田駅 A7出口スグ

電話：03-3455-6381



今、学校では教職員が仕事に追われ、業績評価による査定昇給や主幹、新設主任教諭制度（東京）などによって、競争と孤独に突き落とされ、心身を痛めつけられています。また、教育基本法と学習指導要領の改悪によって愛国心・道徳教育が公教育の目的とされ、能力主義教育がすすめられています。

民主党鳩山政権はこの現実を変えようとしていません。今回の集いでは、「日本国教育基本法案」（06年上程）「教員免許改革法案」（09年上程）を中心に検討します。

卒・入学式が近づいています。「国歌斉唱」時の「一斉起立斉唱」におかしいと思いつつも沈黙してしまったり、違和感すら感じない状況が生まれています。「日の丸・君が代」の強制や愛国心・道徳教育は何を意図しているのか、改めて考えたいと思います。

以上の2点について齋藤貴男さんに語っていただき、ともに考え学び、また職場・地域からの取組を交流します。

「日の丸・君が代」の強制者を告訴・告発する会

〒113-0031 東京都文京区根津1-1-14-302

電話03-5834-1484

FAX03-5834-1485

2・13
「日の丸・君が代」強制反対！
学びと討論の集い